

男も子育て、積極的に

育児楽しむことが大切

男女平等講演会

六月二十七日、男女平等推進委員会は「男も子育て」をテーマに講演会を開き、五十人が参加。

講師の富永誠治さんは東京都職員で、約一カ月の育児を取得し子育てを経験。体験談を交えながら講義した。主な内容は「子育ては大変だからこそ感動や喜びがある」

富永さんは「約一カ月の育児なのに、組合役員からは『育児なんか取って昼間やることがあるのか』と言われ絶句した。」

職場でも『男のくせに』という視線を感じた。このような反応は、『性別役割分業意識』が原因。労働組合はこういった部

分に目を向けていかねばならない」と話した。会場からは「職場で男性が育児を取得すること理解されるにはどうす

ればよいか」「子どもは大勢の大人から愛情を受けて育たなければならぬ」と言ったことに感銘」との意見が出された。

富永さんは「一度きり

の人生、多チャ
ンネルを持つ
ことが大切。

色々なことを

体験し、人生

を楽しむまい

と損。自分だ

けが子育てを

背負い込まず、

家族で共有し

あい、その楽

しさを感じるべきだ」と

締めくくった。

加藤代表は「男性側か

らも男女平等運動に参加



参加者の多くは男性だった

することが大切だと実感。男女平等社会実現に向けてもっと意を強くして取り組みたい」と語った。

ユーモアたっぷりに「子育て体験」を話す富永さん

